

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山田小学校（熊本県）

## 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を行うためには、さまざまな手立てが必要であるが、その中の一つとして、ICTの活用の良さを生かした授業づくりに取り組んだ。

## ア 考えの可視化



4年生 国語科

書きやすいし、消しやすい、また、動かしやすい、試しやすいといった、タブレット端末のアクセスのしやすさを活用することで、子ども達はとりあえず考えたことをどんどん書き込んでいけるようになった。

また、色分けしたり、大きさを変えたり、矢印を付け加えたりすることで、考えを整理して伝えることがしやすくなっている。

## イ 情報の収集



6年生 外国語科

児童一人一人が自分なりの課題を設定し、自分の計画に沿って活動を進めていく場合、子どもが必要とする情報はさまざまである。

自分が本当に必要だと思う情報を自分のタイミングで収集できるようにした。

複数の情報を1台の端末から得ることができるようになった。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山田小学校（熊本県）

## 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を行うためには、さまざまな手立てが必要であるが、その中の一つとして、ICTの活用の良さを生かした授業づくりに取り組んだ。

## ウ 学びの蓄積



デジタルホワイトボードや表計算アプリを活用して、自分の学びの変容がわかるように学びを蓄積している。  
自分の学びを必要ときに振り返ることができ、次の活動を調整することができるようになった。

## エ 他者参照



自分の目の前にある端末から友だちの考えや活動の様子を短時間で見ることができ、多様な考えを知ることができるようになった。  
知ることによって児童は、選択肢を増やすことができ、自分で自分の学びを調整できるようになる。

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山田小学校（熊本県）

## 【取組内容④】「クラウドを活用した教員研修の取組」

地域内の授業研究会等においては、複数のグループで協議を進めた。クラウドを活用したデジタルホワイトボードを使用して、授業者への質問や授業への意見・感想を交流することで、他のグループの意見を共有することができた。また、それらを蓄積していくことで、その後の授業デザインに大いに役に立った。



### 1学期授業研究会

各グループの意見をクラウドを活用したデジタルホワイトボードに集約し、各グループが他のグループの意見を共有できるようにした。



### 2学期授業研究会

まず、同じグループで各自の意見をクラウドを活用したデジタルホワイトボードに入力し、入力された意見をカテゴリー化して、各グループの協議に活用した。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山田小学校（熊本県）

## 【取組内容⑤】「山江村小中学校研究発表会」

10月19日（木）に地域内外の教育関係者に広く呼びかけ、県内外から約250名の参加者があり、山江村小中学校研究発表会を開催した。山田小では4年生国語科、6年生外国語科の公開授業を行った。



4年生国語科公開授業



6年生外国語科公開授業



4年生国語科授業研究会



6年生外国語科授業研究会